

第2回SLiT-J利用分野調査検討ワークショップを開催

2016年3月8日（火）に東北大学大学院農学研究科（雨宮キャンパス）にて第2回SLiT-J利用分野調査検討ワークショップ「放射光で拓く農学研究」（主催：東北放射光施設推進会議、東北大学大学院農学研究科、東北大学多元物質科学研究所、食と農免疫国際教育研究センター）を開催しました。我々の生活に必要な、健康・食糧・環境に取り組んでいる農学分野の研究や応用において、放射光を利用した分析・構造解析・イメージングなどの多様な技術が大きく貢献することが期待されています。そこで本ワークショップでは、農学分野と測定分野の双方の研究者による講演と討論によって、東北放射光施設（SLiT-J）の農学分野での利用可能性の発展について検討すると共に、将来的にSLiT-Jが東北や日本の農業に与えるインパクトについても論議することを目的としました。第一部の講演会では、午前10時から午後6時まで、東京大、京都大、農環研、日本原子力機構、JASRI/Spring-8からの招待講演者や、CFAI教員（白川准教授、中野助教、原准教授）を含む東北大教員の講演が行われました。また、第二部として意見交換会（懇親会）が大会議室で行われ、麻生センター長の乾杯に引き続いて歓談と活発な意見交換が行われました。また翌日には、JASRI/Spring-8からの参加者による農学研究科の見学と、CFAI教員を含む農学研究科構成員との研究打合せも行われました。

本ワークショップ開催により、CFAI教員を含む農学研究科構成員の、放射光施設の利用に関する関心と理解が深まりました。ぜひとも、SLiT-Jの誘致を成功させ、CFAIにおける研究の発展と差別化に役立てたいと、改めて感じました。（文責、原田）

